

臨床研究に関する公開情報

京都市立病院リハビリテーション科では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究の計画書・研究方法についての情報利用について知りたい場合、患者さん自身のカルテ情報を利用されることを拒否される場合など、お問い合わせがありましたら、以下の問い合わせ先にご連絡ください。なお、この研究に参加している他の患者さんの個人情報等はお答え出来ない内容もありますのでご了承ください。

1. 研究課題名

造血器腫瘍患者における 30 秒間椅子立ち上がり試験と予後予測因子との関連

2. 研究責任者

リハビリテーション科部長 多田 弘史

3. 研究担当者

リハビリテーション科 中西俊祐

4. 研究について

目的：がん患者の 6 分間歩行距離と 4m 歩行速度は生命予後や退院後の社会参加の予後予測因子となることが報告されている。しかし、造血器腫瘍患者は治療に伴う血液毒性から個室などの隔離下での治療が必要となり、6 分間歩行試験（6MWT）や 4m 歩行速度の評価は困難である。そこで、個室隔離下でも実施できる 30 秒間椅子立ち上がり試験（CS-30）と 6MWT、4m 歩行速度との関連を検討した。

対象：

（ 2021 年 5 月 ～ 2021 年 7 月 リハビリテーションを行なった患者）

研究期間：2021 年 5 月 1 日～2022 年 4 月 31 日

取り扱う情報：

診療記録、リハビリテーション科記録、検査結果、写真等

個人情報取り扱い：

患者データは研究担当者が責任を持って匿名化し、個人情報保護に十分配慮して管理を行ないます。診療情報は当院でのみ利用します。

結果：

CS-30 は 6MWT、4m 歩行速度に有意な関連を認めた。CS-30 は生命予後や退院後の社会参加の可否を予測しうる可能性が示された。

5. 有害事象および患者負担

患者さんへの直接的な介入や侵襲はありませんので有害事象は起こりません。

また費用負担もありません。

研究へのデータ提供による利益・不利益は特にありません。また、研究への参加・不参加による利益・不利益はありません。

6. 利益相反

開示すべき利益相反はありません。

今回集めた資料は研究発表に使用します。もし患者さん自身、あるいはご家族の情報を本研究に登録されたくない場合は、随時下記連絡先までご連絡ください。取りやめを希望した時点で、すでに研究成果が公表されていた場合は破棄出来ない場合もあります。

この研究計画にご質問がある場合は、下記までご連絡ください。

本研究に関する質問・問い合わせ先

リハビリテーション科 中西俊祐（代表 075-311-5311）

研究機関情報

研究機関名：京都市立病院

研究責任者：リハビリテーション科部長 多田 弘史

研究担当者：リハビリテーション科 中西俊祐

電話 075-311-5311